

テーマ	復習（精算表）
-----	---------

1. 次の期末整理事項によって解答欄の精算表を作成しなさい。ただし、会計期間は平成21年4月1日から平成22年3月31日である。

＜決算整理事項＞

1. 期末商品棚卸高は¥32,500であった。なお、売上原価は「仕入」の行で計算すること。
2. 仮払金は、従業員の出張に際して旅費交通費の概算額を支払ったものである。決算日に従業員が出張から帰り、旅費交通費¥5,200との報告を受け、従業員が立て替えていた不足額は現金で支払った。
3. 平成22年3月31日に、顧客から商品の注文を受け、手付金（内金）¥9,600が当座預金に振り込まれていたが、その処理がなされていなかった。
4. 受取手形および売掛金の期末残高に対して、貸倒実績率法により2%の貸倒引当金を設定する（差額補充法）。
5. 売買目的有価証券として、愛知商店(株)の株式25株（取得原価@¥724）を保有している。決算に際して、時価に評価替えを行う。愛知商店(株)の株式の時価は@¥728であった。
6. 建物および備品について、定額法により減価償却を行う（記帳方法は間接法による）。残存価額は取得原価の10%とし、また耐用年数は建物が24年、備品が6年とする。なお、備品は平成21年12月1日に購入したものであり、その減価償却費は月割り計算によって計上する。
7. 家賃は、平成22年2月1日に向こう6か月分を一括して受け取ったものであり、未経過分は繰り延べる。
8. 借入金の利息につき、未払分を見越し計上する。借入れの条件は、利率が年4%、利払い日が各年6月末日、返済期日が平成22年6月30日である。
9. 消耗品の未消費高¥1,400を計上する。

テーマ	復習（精算表）
-----	---------

勘定科目	残高試算表		修正（整理）記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	19,950							
当座預金	44,500							
受取手形	40,000							
売掛金	35,000							
仮払金	5,000							
売買目的有価証券	18,100							
繰越商品	42,000							
建物	40,000							
備品	10,000							
土地	25,000							
支払手形		33,000						
買掛金		35,500						
貸倒引当金		450						
建物減価償却累計額		7,500						
借入金		50,000						
資本金		100,000						
売上		244,000						
受取家賃		6,000						
受取利息		300						
仕入	149,000							
給料	26,000							
旅費交通費	12,000							
消耗品費	9,700							
支払利息	500							
	476,750	476,750						
()								
貸倒引当金繰入								
有価証券評価()								
減価償却費								
備品減価償却累計額								
()家賃								
()利息								
()								
当期純()								

テーマ	復習（精算表）
-----	---------

2. 次の期末修正事項にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。ただし、会計期間は平成 X9 年 1 月 1 日から平成 X9 年 12 月 31 日までの 1 年である。
1. 当期に販売した商品（原価 ¥1,080、売価 ¥1,350）が返品されていたが未記帳であった。なお、この代金は売掛金と相殺する。
 2. 当座預金のうち ¥6,000 については、かねて取立てを取引銀行に依頼しておいた茗荷谷商店振出の約束手形の入金分 ¥9,000 の処理を、誤って少なく処理していることが判明した。
 3. 支払期日の到来した公社債の利札 ¥540 と配当金額収証 ¥450 が未処理であった。
 4. 受取手形および売掛金の期末残高に対して 3% の貸倒れを見積る。引当金の設定は差額補充法による。
 5. 売買目的有価証券の時価は ¥27,450 である。時価により評価替えをする。
 6. 期末商品の棚卸高は ¥11,700 である。なお、上記 1 で返品された商品の金額はこの期末商品棚卸高に含まれていない。また、売上原価は「仕入」の行で計算すること。
 7. 建物については定額法により減価償却を行う。なお、建物のうち ¥84,000 については、平成 X9 年 10 月 1 日に取得したもので、この分の減価償却費については月割計算で行う。
耐用年数：30 年、残存価額：取得原価の 10%
 8. 保険料は平成 X9 年 4 月 1 日に向こう 1 年分を支払ったものである。
 9. 給料の未払額は ¥1,080 である。
 10. 受取家賃の前受分が ¥4,600 ある。
 11. 受取利息 ¥630 を見越し計上する。
 12. 消耗品の期末未消費高は ¥360 ある。

テーマ	復習（精算表）
-----	---------

勘定科目	残高試算表		修正（整理）記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	54,000							
当座預金	45,000							
受取手形	45,000							
売掛金	37,350							
売買目的有価証券	27,000							
繰越商品	13,500							
消耗品	3,600							
貸付金	63,000							
建物	270,000							
土地	360,000							
支払手形		36,000						
買掛金		46,350						
貸倒引当金		1,530						
減価償却累計額		97,650						
資本金		643,950						
売上		594,000						
受取家賃		32,200						
受取利息		630						
仕入	408,600							
給料	79,720							
水道光熱費	40,140							
保険料	5,400							
	1,452,310	1,452,310						
有価証券利息								
受取配当金								
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
有価証券評価()								
()保険料								
()給料								
()家賃								
()利息								
()								
当期純()								